

令和6年11月11日

一般社団法人 全国専門学校教育研究会
会員各位

全国専門学校教育研究会
全国職業教育協議会
担当理事 下 蘭 恵子
委 員 長 林 宏治
副委員長 八木 信幸
委 員 木村 隆浩
委 員 片岡 優介

「教職員のための教材開発（1日目）および校務全般（2日目）における生成AIの活用」研修について
（ご案内）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、学校現場における生成AIの活用は、大きなテーマになっていると思います。

そこで、今回の研修は、生成AIおよび大規模言語モデルの活用経験が豊富な先生にお願いし、初日は教材開発の実践として教員を対象に、2日目は校務の効率化の取り組みとして事務・広報も含めた教職員を対象とした内容となっております。

年末のご多忙な時期とは存じますが、管理職、教務、広報、事務などいろいろな職種の業務でお役立ていただければと考えております。ぜひこの機会に多くの皆さんに受講していただきたい内容ですのでよろしくお願い申し上げます。

敬具

研修内容について

◆コース（どちらのコースもオンラインでの実施です）

コース1 教員のための生成系AIを活用した教材開発並びに校務効率化

（2日間 12/23～12/24 2日目はコース2の内容）

教員の皆様向けに対面で実施します。12/23はChatGPTを活用した教材活用事例を学びます。12/24はChatGPTを活用した校務効率化についての研修です。

コース2 教職員のための生成系AIを活用した校務効率化

（1日間 12/24）

教職員向けに実施します。オンラインで実施し、12/24にChatGPT入門を活用した校務効率化についての研修です。

◆日 時

1日目 令和6年12月23日（月）10:30～16:30（昼休憩1時間）

2日目 令和6年12月24日（火）9:00～12:00

◆テーマ

「教職員のための教材開発（1日目）および校務全般（2日目）における生成AIの活用」

生成AIの急速な進化に伴い、教育界でもその導入が加速しています。文部科学省は教育機関向けに生成AIのガイドラインを提示し、教職員がその利点とリスクを理解した上での活用を推奨しています。この研修では、

実際に大学や専門学校、高校で情報・プログラミング科目の授業準備に生成 AI（主に大規模言語モデル(LLM)）を活用し、効率化と高品質な授業の両立を実現した講師が指導を行います。

本研修は 2 日間に渡って開催されます。【1 日目】生成 AI（主に LLM）の基礎知識や使用上の注意点、そして教材開発への活用事例を学びます。その後、参加者の専門分野に応じたグループに分かれ、生成 AI を用いてカリキュラム・教材・問題の作成演習を行い、グループ内で成果物や活用方法を共有・議論します。さらに、全体発表を通して他のグループの取り組みも把握できます。【2 日目】生成 AI 入門（短縮版）に加え、教育活動以外の校務全般への活用方法を学びます。その後、グループワーク形式で、生成 AI を活用した校務効率化（主に広報関連業務）の演習に取り組み、成果物を発表します。最後に、全グループの発表を踏まえ、自校での活用に向けた意見交換を行います。

本研修を通じて、生成 AI に関する知識を得るだけでなく、カリキュラムや教材の作成、そして校務効率化といった様々な場面での実践的な活用スキルを習得いただけます。また、同じ分野の教員との交流を通して、新たな知見やアイデアを得て、教育現場での生成 AI の活用策を考案する貴重な機会となります。

◆研修の概要

第 1 日目 令和 6 年 12 月 23 日（月）

時間	概要	詳細内容
10:00～10:30	受 付	-
10:30～11:30 (60 分)	生成 AI 入門	生成 AI（主に大規模言語モデル）の基礎知識や使用上の注意点について解説する。
11:30～12:00 (30 分)	生成 AI を活用した教材開発の事例	講師が実際に生成 AI を活用している事例を通して、カリキュラム・教材・問題の作成方法について解説する。
12:00～13:00 (60 分)	昼休憩	昼休憩の時間です。
13:00～15:10 (130 分)	生成 AI を活用した教材開発の演習	生成 AI を活用して、カリキュラム・教材・問題をご作成いただく。個人演習だが、グループに分かれ、グループ内で助け合っている。
15:10～16:10 (60 分)	成果物の共有と議論 (グループ内発表)	グループ内で、個人演習の成果物を共有して、自校での活用に向けて議論していただく。
16:10～16:30 (20 分)	成果物および議論結果の共有 (全体発表)	グループ内での共有および議論結果を全体向けに報告いただく。

第 2 日目 令和 6 年 12 月 24 日（火）

時間	概要	詳細内容
8:30～9:00	受 付	-
9:00～9:50 (50 分)	生成 AI 入門（短縮版）と教育活動以外の校務全般への活用方法	生成 AI（主に大規模言語モデル）の基礎知識や使用上の注意点について簡潔に説明した後、教育活動以外の校務全般への活用方法を説明する。
10:00～10:50 (50 分)	生成 AI を活用した校務効率化の演習	グループに分かれ、生成 AI を活用して、主に広報関連の成果物（案内文作成やアンケート作成・集計等）を作成いただく。
11:00～11:45 (45 分)	成果発表	各グループが作成した成果物を全体向けにご発表いただく。
11:45～12:00 (15 分)	自校での活用に向けた意見交換	全グループの発表を踏まえて、グループ内で自校での活用に向けて意見交換していただく。

※両日とも適宜休憩を入れます。

◆研修の参加にあたっての必要な事前知識

- ・生成 AI を活用した教材開発の演習を行うために、PC の基本操作のスキルが必要です。
- ・カリキュラム・教材・問題の開発経験があることが望ましいです。

◆必要環境

- ・会場の WiFi 等を通してインターネットに接続できる PC
- ・グループ演習の発表資料を作るためのソフトウェア（Microsoft PowerPoint や Google Slides 等）

◆講師

坂本 一憲（サカモト カズノリ）

○略歴

2010 年 早稲田大学 基幹理工学研究科 情報理工学専攻 修士課程 修了（飛び級）
2011 年 早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科 助手
2013 年 早稲田大学 基幹理工学研究科 情報理工学専攻 博士後期課程 修了
2013 年 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学系 特任助教
2014 年 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学系 助教
2014 年 独立行政法人 科学技術振興機構 さきがけ研究者（兼任）
2018 年 株式会社 UsideU CTO
2018 年 WillBooster 合同会社 CEO 兼 CTO
2018 年－現在 早稲田大学 研究院客員准教授
2019 年－現在 WillBooster 株式会社 代表取締役社長
2022 年－現在 東京通信大学 准教授
2024 年－現在 国立情報学研究所 特任研究員

○主な受賞歴

2011 年 経済産業省および情報処理推進機構 未踏スーパークリエイター
2012 年 早稲田大学 小野梓記念学術賞
2012 年 財団法人安藤研究所 安藤博記念学術奨励賞
2012 年 IEEE Computer Society Japan Chapter, Young Researcher Award
2014 年 情報処理学会 山下記念研究賞
2014 年 日本ソフトウェア科学会 高橋奨励賞
2015 年 International Symposium on Software Testing and Analysis, Best Artifact Award
2016 年 情報処理学会 学会活動貢献賞
2017 年 日本 e-Learning 大賞 AI・人工知能特別部門賞
2023 年 BRAVE Innovator Award（今後の活躍が最も期待される起業家候補）

◆定員

両コースともオンラインのため定員はございません。

◆参加料

コース 1 教職員向け 2 日間 12/23・24

全専研会員校 10,000 円/1 名 全専研非会員校 15,000 円/1 名

コース 2 教職員向け 1 日間 12/24

全専研会員校 5,000 円/1 名 全専研非会員校 9,000 円/1 名

令和6年12月18日(水)までに参加料を下記口座にお振込みください。

【振込先】

清水銀行 三島支店 普通口座

口座番号：2177699 (店番号：103)

シヤ) ゼンコクセンモンガツコウキヨウイクケンキユウカイ

口座名義：一般社団法人全国専門学校教育研究会

領収書はメール PDF にて送付いたします。

◆申込み方法

申込み受付期間 令和6年12月13日(金) 18:00 まで

Google フォームに入力をお願いします。

<https://forms.gle/uiHSJAKxgVZiPX4Y9>

【お問い合わせ】

担当 学校法人河原学園 木村 隆浩

メール kimura@kawahara.ac.jp 電話 089-943-5333